

南三陸 復興まちづくり通信

第10号(平成27年4月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



戸倉地区 戸倉団地

(戸倉地区 戸倉団地イメージ図)

見学会終了後、防災集団移転希望者による「意見交換会」が現場事務所の会議室で開催され、宅地の決定方法についての話し合いが行われました。

同地区には、防災団地が95区画整備される予定です。また、災害公営住宅は集合タイプが70戸と戸建て住宅が10戸の計80戸が建設されます。工事は順調に進んでおり、28年1月末に完成予定で、3月末か4月の入居開始が見込まれています。今月16日には戸倉小の上棟セレモニーが行われます。

戸倉団地で「現地見学会」開催

戸倉地区で整備が進む戸倉団地で3月29日、防災集団移転希望者と災害公営住宅への入居予定者を対象とした合同の「現地見学会」が行われました。当日は、両方合わせて約90人の住民が参加。工事業者や役場担当者から、工事の進捗状況や今後の工事の予定などについて説明を受けながら、団地内を見学しました。



イメージパース 平成27年

(戸倉災害公営住宅の完成イメージ図=集合タイプ)



(復興みなさん会による活動報告の様子)

国連防災世界会議で活動を世界に発信

仙台市民活動サポートセンターで3月16日、「復興まちづくり推進員 活動報告・交流会」が開催され、復興みなさん会も震災後4年間の活動について報告を行いました。このイベントは、「防災からまちづくりを考える実行委員会」主催の「国連防災世界会議パブリック・フォーラム『市民協働と防災』」テーマ館事業の一環として開催されたもので、約60人が参加。県外からの参加者も多く見られ、被災地外に現場での取り組みを情報発信する大変良い機会となりました。

NPO 法人「夢未来南三陸」が支援を継承

～すばらしい歌津をつくる協議会臨時総会～

すばらしい歌津をつくる協議会の臨時総会が3月23日、歌津総合支所で開催され、震災後4年間継続してきた復旧復興支援事業を3月31日で終了し、4月以降は、「NPO 法人夢未来南三陸まちづくり事業部」が事業を継承することを決定しました。また、被災した歌津地区に寄せられた義援金を、地区の17行政区に震災復興支援金として交付することも承認されました。

震災直後の4月17日から発行してきた会報「一燈」は縮刷版を冊子に編集。2,000部を印刷して地区の全世帯に配ることになりました。



(23人が出席した臨時総会の様子＝歌津支所会議室)

なお、「一燈」は4月から、これまでと同じように毎月1回発行され、歌津の復興情報を発信する予定です。



(復興みなさん会からも活動を報告しました)

県の助成団体が活動の成果を発表

～震災復興担い手NPO等支援事業成果報告会～

宮城県の「平成26年度震災復興担い手NPO等支援事業」で補助を受けた県内各地の10団体が集まり、その活動内容や成果を報告する会合が3月24日（火）午後、宮城県庁にて開催されました。

復興みなさん会では、この補助金を活用して、復興まちづくり通信の発行や仮設住宅での交流イベント、先進地への視察研修ツアーの実施といった復興支援事業を実施することができました。改めて厚くお礼を申し上げます。



(中学校上団地イメージ図、中央が災害公営住宅)

伊里前災害公営入居予定者が「懇談会」

歌津地区で建設工事が進められている伊里前災害公営住宅（60戸）の入居予定者のための「くらしの懇談会」が3月14日、歌津総合支所で開催され、住民21人が参加しました。担当者が工事の進捗状況や入居までのスケジュール、必要な手続きなどを説明した後、意見交換をしながら交流を深めました。同住宅は年内に工事完成の見込みで、今年の10月頃には本申し込みの受付を開始し、来年2月から3月頃にかけて入居開始の予定です。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、トヨタ財団、大阪コミュニティ財団等の助成金を受けて、活動を行っています。